

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 広島県立安古市高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒731-0152 広島市安佐南区毘沙門台 3-3-1

E-mail yasufuruichi-h@hiroshima-c.ed.jp

Website http://www.yasufuruichi-h.hiroshima-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 434 名 女子 511 名 合計 945 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☒ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☒ エネルギー
- ☒ 防災
- ☐ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☒ そのほか (地域課題の発見・解決策の探究)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①ユネスコアジア文化センター（ACCU）による国際協働学習プロジェクト「ESD Food Project」への参加（2学年選択授業での取り組み）

- ・プロジェクト参加校7校の担当者とACCUによる事前ワークショップ・打ち合わせを経て、「食と経済」をテーマに国際協働学習を実施した。
- ・Kuthparamba ハイスクール(インド・ケララ州)、福島県立安達高等学校との連携により、担当生徒が連携校の生徒とインターネット（Skype/メール）により交流及び食に関する情報交換等を行った。
- ・ACCUが開発した協働学習のための枠組みである「HOPE Framework」に準拠して「食品廃棄」の問題に焦点を当て学習を行った。課題設定後、地域の商業施設へのインタビュー、連携校と協働してのアンケート調査、食品ロスに関する調べ学習等を実施。地域の中学生に研究報告を行うとともに、研究成果を報告書としてまとめた。
- ・協働学習プロジェクトの経過については、ユネスコスクール全国大会の分科会において担当者が発表し、参加者との協議を行った。

②オーストラリア短期留学研修の実施（1・2年留学研修参加者の取り組み）

- ・St John's Grammar School（オーストラリア・アデレード市）との連携により、留学研修を実施した。
- ・参加生徒は、戦後70年（被爆70年）という節目の年として、被爆直後と現在のHiroshimaについて、留学先の生徒・教職員に対してスピーチ・プレゼンテーションを行った。
- ・参加生徒は、現地のアボリジニーに関する歴史博物館を訪問し、先住民族の人権に関する学習を行った。
- ・帰国後、1学年集会において研修内容の報告会を開催した。

③英字新聞“The Yasufuruichi Times”の作成（2学年生徒全員）

- ・生徒の取材・記事作成・紙面作成による英字新聞を作成した。
- ・紛争や安全保障について考える記事、戦後70年を迎えた広島での被爆者の思いを伝える記事、一昨年本校の近隣で甚大な被害をもたらした土砂災害に関して当時の状況や災害発生の原因、防災の取り組みの重要性を訴える記事、海外交流の成果を紹介する記事等を英文で作成し、新聞社の協力を得て印刷・発行した。

④1・2学年ディベートの実施（1・2学年生徒全員）

- ・1・2学年の総合的な学習の時間では、「マイナンバー制度実施の是非」「難民受け入れの是非」（1年）、「クォータ制導入の是非」「原子力発電再稼働の是非」「集団的自衛権の行使の是非」（2年）について、肯定・否定両方の立場から様々な意見を収集・整理し、議論を行った。

⑤パネルディスカッションの実施（3学年生徒全員）

- ・3学年の総合的な学習の時間において「持続可能な社会の実現をめざして」をテーマにパネルディスカッションを実施した。

- ⑥人権道徳教育講演会の実施（１・２学年生徒全員）

- ⑦OECD 地方創生イノベーションスクール 2030 (P4Y) 広島クラスターへの参加。

- (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 3